

CAGLIERO¹¹

カリエロ11

サレジオ会宣教ニュース N.83 - 2015年11月

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



友人の皆さん

宣教の月に、サン・ピエトロ広場でのお告げの祈りの際、フランシスコ教皇は言われました：「この広場にいる若者の皆さんにお聞きします：皆さんに注がれるイエスのまなざしを感じたことはありますか。皆さんは、イエスから与えられる喜びのうちこの広場を出たいですか。それとも、世俗社会から与えられる悲しみのうちここを出たいですか。」(10月11日 中央協議会訳)

同じような場面があったなら、ドン・ボスコもきっと、フランシスコ教皇のように“網を打った”に違いないと思います。

神の摂理は、毎日、“6つの大陸”(デジタル大陸を含めて!)で、数え切れないほどの若者たち、この大きな選択についての問いかけを待つ若者たちを、私たちの目の前に置かれます。しばしばほかのことに気を散らし、多忙な私たちは、この問いを忘れていたり、問いかける勇気を持っていなかったりします。

自分たちの置かれた地理的な場所、文化的状況、あるいは教育・司牧の構造にかかわらず、私たちの宣教の心意気を“測定する”方法がここにあります。若者に関わるすべての状況において、私たちが宣教の精神を生き生きと保つことを、主は私たちに期待しておられます。

J. Basanes

宣教顧問
ギジェルモ・バサネス神父



サレジオのアイデンティティーを構成する本質的特徴

私 たちがよく知っていることをここで思い起こさせてください：ドン・ボスコは若い頃から宣教師になる望みを抱いていました。ドン・

ボスコの召命の識別に伴っていたドン・カファッソはその道を“^{はば}阻み”、宣教師になるのは彼の道ではないと伝えました(メモリエ・ビオグラフィケII, 英語版160-161参照)。しかしながら、ドン・ボスコの精神と心には常にこの考えがあり、息子たちを通してそれを実現したのです。移民の霊的必要性に応え、まだ福音を知らない人々に福音をもたらすため、1875年11月11日に始まり、最初のサレジオ会員の一人の中から、アメリカ大陸に派遣する者たちを選びました。この最初の宣教派遣から、来たる2015年9月27日に予定されている宣教派遣まで数えて、146回の派遣が行われてきました。サレジオ会員の第一回宣教派遣から間もなく、サレジアン・シスターズもまた、毎年宣教地へ赴くようになりました。今日、派遣式は多くの場合、男性、女性の信徒宣教師を含めて行われています。

私が前の書簡(最高評議会報419)で触れたこと、それ自体が自ら語る事実を忘れてはなりません。ドン・ボスコが亡くなった時点で、その年の会の目録によると、アメリカ大陸には、当時の会員全体の2割にあたる153名のサレジオ会員がいました。

1912年に書かれたある書簡で、パウロ・アルベラ神父はドン・ボスコについて次のように述べています：「宣教はドン・ボスコの講話の中でいつも優先される題目であり、ドン・ボスコは若者の内に、宣教師になりたいという強い望みを呼び覚ますことができました。宣教師になることが、あたかもこの世で最も自然なことであるかのように。」

宣教の次元が、私たちの会のアイデンティティーを構成する本質的特徴であると、私はいつも確信してきました。私たちのさまざまな文書に当たってみればみるほど、この確信は強まりました!

アンヘル・フェルナンデス神父, SDB

(最高評議会報421)

	氏名	出身管区	派遣先
1	P. Albert Tae Woo Kim	韓国	中国
2	L. Beom Ju Moses Lee	韓国	中国
3	S. Miguel Angel Condo	ボリビア	中東
4	S. Giuseppe Andrés Liano	中央アメリカ (グアテマラ)	イタリア南 (アルバニア)
5	S. David Patience Komba	アフリカ東 (タンザニア)	メキシコ・グアラハラ
6	S. Harinandrasana Geroges Rabarison	マダガスカル	ベネズエラ
7	S. Jean Jacques Randrianarijaona	マダガスカル	スリランカ
8	S. Don Nyika	ザンビア	イタリア南 (アルバニア)
9	P. Noel Sumagui	フィリピン北	スリランカ
10	S. Rodil Padilla Lladones	フィリピン北	中東
11	S. André Ahondju	アフリカ中央	ベネズエラ
12	S. Faustin Bahati	アフリカ中央	スリランカ
13	P. Giuseppe Di Sario	イタリア南	中東
14	D. Rodney Barlathier	ハイチ	フランス・ベルギー南
15	S. Michael Gaikwad	インド・ムンバイ	タイ (カンボジア)
16	S. Peter Minh Duc Nguyen	ベトナム	プロジェクト・ヨーロッパ (2016年6月に決定)
17	S. Joseph Quang Vinh Nguyen	ベトナム	スリランカ
18	L. Joseph Xuan Hoan Pham	ベトナム	プロジェクト・ヨーロッパ (2016年6月に決定)
19	S. Barthelemy Viet Truong Nguyen	ベトナム	スリランカ
20	P. Nesly Léonard	ハイチ	アメリカ合衆国東
21	S. Joshua Pilaku	西アフリカ英語圏 (ナイジェリア)	タイ (カンボジア)
22	S. Vasanth Raj Antony Dass	インド・チェンナイ	モザンビーク
23	L. Peter Ba Dat Phung	ベトナム	オーストラリア



サレジオの宣教の聖性のあかし

サレジオ会列聖申請人 ピエル・ルイジ・カメローニ神父

尊者ラウラ・メッツィ (1874-1951、サレジアン・シスターズ会員、ポーランドへの宣教師) は、新たな支部を開設する姉妹たちに次のように書き送っています：「目上と一つになってください；あなたがたの家がイエスの家となるように心がけてください；その家が模範的な家であるように、そして姉妹たちが徳の模範であるように……あなたがたの間に決して嫉妬心などないように、悲しい顔がないように、いつも朗らか、穏やかで、すべてを喜び、神の栄光のために、いつでもどのような犠牲もいとわない心構えがあるように。決して声を荒げず、いつも微笑みなさい。少女たちを大切に扱いなさい、しかしそれぞれの状況にふさわしくしなさい、物事を軽んじる人がいないように。」



サレジオ会の宣教の意向

アフリカ-マダガスカル地域のサレジオ会員のために

アフリカ-マダガスカル地域のサレジオ会員が、牧者としての自分たちの世話にゆだねられた若者たちに霊的に同伴することができますように。

教皇ベネディクト十六世は述べています。「アフリカは、キリスト教的観想生活の揺籃の地です」(アフリカの使命 Africae Munus 119)。この流れに則して、私たちサレジオ会員は、ドン・ボスコの教えに従い、その教育法に倣いながら、若者をキリストのもとに連れて行く召命、使命を持っています。ドン・ボスコは、カファツソ神父に導かれながら、若者たちが良いキリスト者、誠実な市民として聖性のうちに成長するため、彼らと共に歩きました。私たちの創立者のように、すべてのサレジオ会員は、霊的指導者の同伴を定期的な受けるときにはじめて、若者に同伴し、友、父として近い存在になれるのです。

